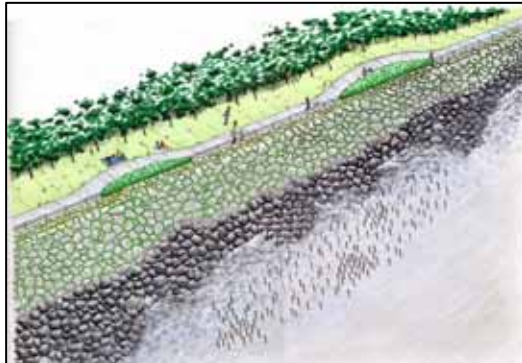


## 6. バリエーション検討の課題点

### (1) 保全ゾーン

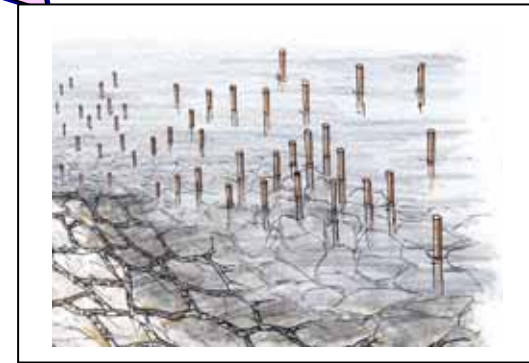


保全ゾーンとしての周知・徹底方策の検討が必要。



小テラス(展望のみ)  
(転落防護柵あり)

階段部の強度確保が必要。  
小テラス部の安全対策の検討が必要



木杭等の維持管理方策について検討が必要。

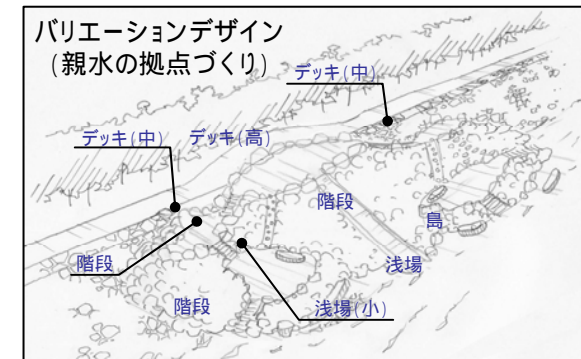
### (2) 利用ゾーン



海岸保全区域外となる箇所については、規模・位置の調整が必要。

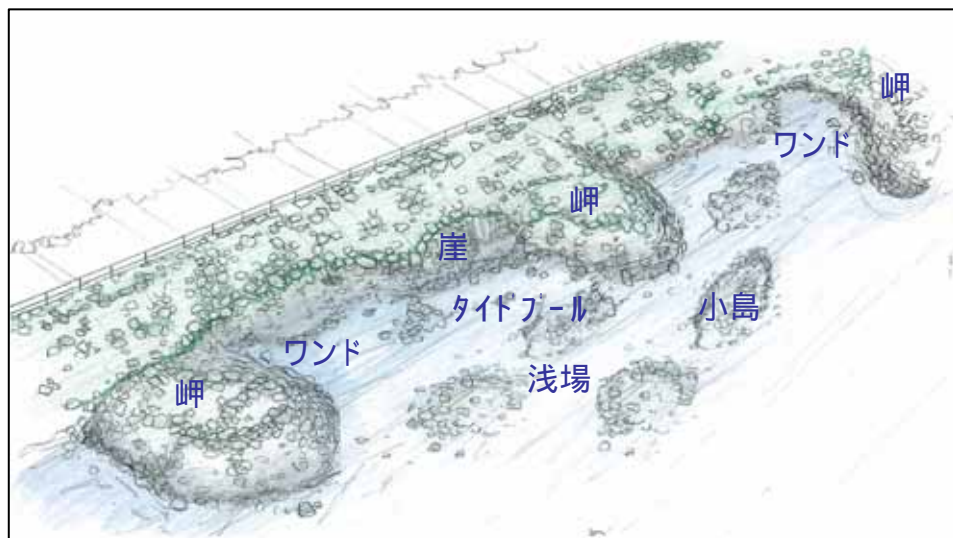


ワンド状にセットバックするので、防護に必要な護岸断面の確保の方策の検討が必要。



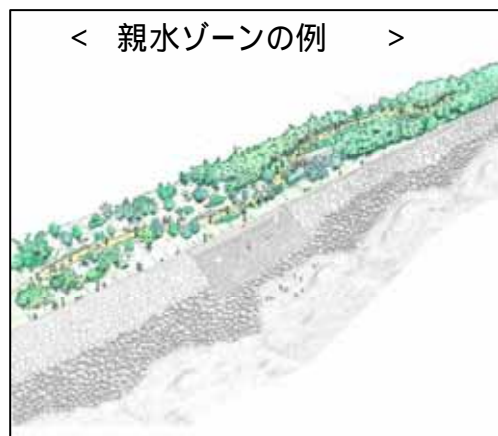
同上  
防護に必要な護岸断面の確保の方策の検討が必要。

### (3) マザーゾーン



海岸事業での整備範囲について検討が必要。  
維持管理の方法について検討が必要  
(メンテナンスフリー?)  
構造物の強度を確保する必要がある。  
防護に必要な護岸断面の確保の方策の検討が必要。

### (4) 遊歩道



利用ゾーンでは背後地計画と調整が必要。  
防犯灯の設置や配置について調整が必要。  
事業区分について明確にする必要がある。